

■毎月2回 1日・15日発行  
■発行 印西市 ■編集 秘書広報課広報広聴班  
■〒270-1396 千葉県印西市大森2364-2  
☎0476②5111(代) FAX0476②7242  
■ホームページアドレス <http://www.city.inzai.chiba.jp/>  
■電子メールアドレス [home@ml.city.inzai.chiba.jp](mailto:home@ml.city.inzai.chiba.jp)

人口と世帯	人口	89,680人	(+58)
	男	44,545人	(+15)
	女	45,135人	(+43)
	世帯	32,387世帯	(+57)
	—平成22年6月1日現在— ( )内は前月との比較		

# 広報 いんざい



君の声を聴かせて。

声の合点がい  
心と通じあう。  
友と新司

犯罪や非行を防止し、  
立ち直りを支える地域のチカラ

社会を明るくする運動

▲第60回社会を明るくする運動  
広報用ポスター



▼演劇の上演など、犯罪や非行の防止などの理解を深める催しを予定しています(写真は昨年の大会で上演された木刈中学校演劇部による「青い鳥」)

現在のよう社会の変化が加速し、流動化している時代の中で、青少年を取り巻く環境も大きく変化しています。このような状況の中、家庭・学校・地域それぞれが青少年の育成に関わり、一体となった取り組みが求められています。

## 社会を明るくする運動 青少年健全育成大会

少年非行などのお悩みは、千葉保護観察所(☎043-204-7791)まで。

印西市および印西地区保護司会では第60回記念および印西市合併記念事業として、人権のシンボルである「ひまわり」を駅や警察署・市役所・公民館などに配置します。非を犯した人や非行に陥った少年の更生が円滑に行われるためには、その人自身の意欲と併せ、地域社会の理解と協力が不可欠です。強調月間中は、市内の保護司、人権擁護委員、更生保護女性会のみなさんが中心となって啓発活動を行いますので、ご理解とご協力をお願いします。

## 犯罪や非行を防止し 立ち直りを支える地域のチカラ

印西市合併記念「社会を明るくする運動」第60回記念大会を開催

「社会を明るくする運動」は、すべての国民が、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場で力を合わせ、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする全国的な運動です。今年度で60回を迎え、今回から「社会を明るくする運動」犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ」という新たな名称となりました。

7月はその強調月間にあたり、犯罪を誘発しない環境づくりを目標とした「社会を明るくする運動青少年健全育成大会」を開催します。

- ◎日時：7月3日(土)・午後1時30分(開場は1時)。
- ◎会場：文化ホール。
- ◎内容：次のとおり。

【作文朗読】市内小・中学校応募作品の中から代表者が朗読。

【舞台】ミュージカルカンパニー「いちごハウス」による「絆」SONGSのほか、中学生による演目あり。

◎入場：無料。  
※託児コーナーあり。また、会場では手話通訳と要約筆記が行われます。

◎社会福祉課厚生班(☎内線254・255)、生涯学習課生涯学習推進班(☎1120)。

## 印西市消防団辞令交付式

## 地域の安心・安全を守る消防団員を任命

新市が発足して、印西市消防団は新たな組織として支団制の48分団部717人となりました。

それに伴い、去る4月11日、西の原小学校で、印西市消防団辞令交付式が行われました。平成22年度の印西市消防団幹部は、次のとおりです。

- ▼団長：岩井一郎
- ▼副団長：河村錦一・酢崎義



▶辞令を受けてますます気を引き締める、消防団のみならず

- ▼第1分団長：山口修司
- ▼第2分団長：三門成人
- ▼第3分団長：山口貴広
- ▼第4分団長：椎名竜彦
- ▼第5分団長：宮島純一
- ▼第6分団長：植村陽一
- ▼第7分団長：恩田雄一郎
- ▼第8分団長：鈴木剛
- ▼第9分団長：岩井晋一
- ▼第10分団長：森田隆之
- ▼ラップ部部长：山浦一秀
- ▼女性部部长：高鳥妙子
- ▼印旛支団
  - ▼支団長：富井庄一
  - ▼副支団長：鶴澤正昭
- ▼本部分団長：渡邊勇・宮澤徳昭・宮内弘行・狩野実
- ▼第1分団長：狩野実
- ▼第2分団長：...

## 次世代育成支援行動計画(後期計画)を策定

市の次世代育成支援行動計画について、次世代育成支援対策地域協議会(大久保欽司会長)の答申に基づき、次世代育成支援行動計画(後期計画)を策定しました。新しい計画では、前期計画の「子どもと親の成長をみんなで見守り、応援するまち」という基本理念を継承しつつ、子どもの人権を大切に、子育てと仕事の両立支援や子育ての孤立化などの問題を踏まえ在宅の子育て家庭に対する支援など、施策および事業を計画的・総合的に推進をしていきます。



▲大久保会長(右)と山崎市長

なお、この計画書の概要版については、新聞折込みなどで配布しています。子育て支援課子育て支援班(☎内線243)。

## 利根川河川敷で水防演習

去る5月22日、大森の利根川堤防で、水防演習が行われました。



水防団のみなさんによる演習の様子

この演習は消防団で組織する水防団や消防職員、自衛隊員など関係支援団体約600人が参加。台風による河川の氾濫を想定し、本番さながらに行われました。水防団は、土のう作りやどこの積みほのほか、竹・杭・豊などの資材を使って水防工法を実施。消防職員と陸上自衛隊の合同による水難救助訓練も行われ、ボートとヘリコプターを使って、河川転落者を迅速に救出していました。圃防課防災班(☎内線452)。